

ぴぴっと

ぴぴっと(PPT)とは...Paper (新聞) Practice (実践) Theory (理論) Philanthropy (社会貢献)

NO.12 夏号

平成15年6月1日

発行

ぴぴっと(PPT)研究会

初夏の風

初夏のさわやかな日ざしの中、
みどりが色濃く映える季節

ぴぴっとの活動もはや4年目
子どもで言えば、やっど幼稚園

子どもたちとふれあうこと
いろんな人と出逢うこと

素直な好奇心と
小さな感動をもって
少しずつ視野をひろげ
活動範囲をひろげ

ゆっくりと
そしてたのしく
元気に歩いていこう

今年度も
どうぞよろしく
おねがいます！



目次

- P1 味あらかると
- P2 子どもの心を耕す読書のすすめ
さんやそう
- P3 虹のひろば
- P4~5 集まれ！子どもぴぴっとクラブ
- P6 Q&A・ぴーたいむ
- P7 まうすりいだよ
- P8 新聞まめちしき・夏だよ！
編集後記

味

あらかると

国立国語研究所「外来語」委員会（委員長：甲斐睦朗所長）は二〇〇三（平成十五）年四月二十五日、「第一回『外来語』言い換え提案」を公表した。

それによると、「コンテンツ」「ライフサイクル」など政府の白書で使われている外来語や和製外国語から六十二語を選び、それぞれ「情報内容」「生涯過程」など、日本語の適当な言い換え例を示した。

同委員会は、全体で二百四十八語の外来語に言い換えが必要と判断している。今後第二回分として、五十八語について、今年十月の提案を旨指し検討を進める。

言い換え提案は、個々の外来語について言い換え語を原則として一語示したほか、手引き、その他の言い換え語例などを併せて提示した。新造語は「インフォームドコンセント」の「納得診療」「セカンドオピニオン」の「第二診断」の二つ。

先日の「PTA会報担当者の編集技術講座」で「手づくりの外来語事典」づくりを提案した。参加者のやる気が伝わってきて嬉しかった。

子どもの心を耕す読書のすすめ

子どもの成長にとって、読書が大切な役割をしていることは、誰もが認めるところです。しかし、新聞やテレビをはじめとして、いろいろな機会や場で、「子どもの読書離れ・活字離れ」等が指摘されています。たくさんの本に囲まれ、読む能力を持っている子どもたちが、本を読まなくなるのはなぜでしょうか。その要因となるものはいろいろあると思います。子どもたちが「本を読んでみよう」という、意欲を引き出す環境をつくる努力が不足していることも、一つの要因ではないかと思います。

そこで、子どもの読書意欲を引き出す環境としての「読み聞かせ」について、大事にしなければならないことを、まとめてみたいと思います。

[子どもが本と出会う手助けをする読み聞かせ]

本を読み聞かせることで「おもしろそうな本だぞ」・・・と本に対する興味を持たせ「自分でも読んでみたい」「もう一度読んでもらいたい」等の読書意欲を引き出すことができます。このように読み聞かせは、子どもが本と出会うための手助け、仲立ちをしていることとなります。

1. 感動を子どもに伝えることを第一に

作者の伝えたいことを、子どもたちの心に「楽しい」「美しい」「悲しい」「淋しい」・・・という、感動のことばとして働きかけることが、子どもの読書意欲を引き出すこととなります。

2. 子どもが自分なりのイメージが描けるように

書き言葉を、読み手から声として聞きながら、子どもが自分なりにイメージを描けるように読み方を工夫すれば、本に対する興味がわき読書意欲も高まります。

3. 子どもと読み手が心をふれ合うことができる本の選択を

子どもの状況をよく把握して、子どもの成長に応じた本を選択する事により、子どもと読み手の心がふれ合い、読書の楽しみが理解できるようになります。

読書意欲と読み聞かせ
読み聞かせで大事にしたいこと
1

さんやそう 4

寒い地方の湿地に咲く花。したがって、花期は雪の早く消える地域では4月、遅い地方では6月前後となる。多くの花・草が蒼然と湿地を埋める春、この花（ミツガシワ）だけが湿地の一角を占め、群生している事が多い。一つの花が1cm以上もあり、穂状に直立して咲いている様は見事なもの。屋敷や公園の池を飾りたい花である。

名前の由来は、3枚の葉の形が3ツ柏の紋章に似ていることによる。

(文・写真 沢内村 大石 信夫氏 提供)



ミツガシワ

虹の ひるば

特別養護老人ホームぶなの園の
おじいさんおばあさんを
お迎えして



沢内村立せんだん保育所
所長 佐藤 りき子

おじいさんおばあさんのすてきな笑顔がいっぱい

「あしたは、ぶなの園のおじいさんやおじいさんがくるよ」との担任のことばに子どもたちは大喜び。3月にネコヤナギを持って訪問した時のことを覚えていたらしい。ぶなの園のおじいさんおばあさんが保育所にきてくださるのは、運動会以来のことである。

翌朝5月8日「おじいさんおばあさんが来たよ」の声に合わせて、ぶなの園の住民9人（うち車椅子5人）をテラスで出迎えた。「おはよう」「こんにちは」「かわいいな」「皆かわいい！」などそれぞれ挨拶を交わし合っていた。

ふだんは、あまり話さないおばあちゃんたちが「ここはどこだべ？」と言うので「せんだん保育所だよ」「小さい子どもたちがいっぱいいる所」と答えると「ちゃこい わらしゃだいいっぱいいる？」とニコニコ。子どもたちに「今日は雨なので外では遊べないから、せんだん保育所の外の様子を教えてあげましょう」と言う。「林には、木があって虫がいてしいたけもあるよ!」「ブランコ、トンネル、山、砂場もあるよ」などなど特に3～4歳児があますところなく、くわしく紹介していたので驚きだった。自己紹介の時には、はずかしがりやの3歳児も大きな声ではっきり言えた。紹介のことばにも勢いがついていった。1～2歳児は、返事も手を挙げるのも調子が良かった。次は、僕、私の番だと言わんばかりに張り切って紹介していた。正直言って、新年度が始まったばかりだったので、子どもたちがきちんとお話ができるという確信がつかめて嬉しかった。また、「肩をもんであげよう」と言うとなんぞおじいさんおばあさんの所へとんでいって肩もみをしようとしていた。

風船つきでは、風船があまりいかないお年寄りに、意識して風船がいくようにする5歳児の気遣いに対して、自分の手元に風船が欲しくてしょうがない様子の4歳児以下の子どもたち。いずれの子どもたちの姿もお年寄りには「かわいい」という笑顔でながめてくださっていた。

お別れには、子どもたちから園庭に咲いていたヤマブキ、チューリップ、すいせん、ユキヤナギなどの花をプレゼントした。おじいさんおばあさんからは、手作りの6月ジャンボカレンダーをいただいた。あじさいや大好きなカエルの貼り絵だったのでとても喜んでいった。

お別れの時は、雨が少々降っていて肌寒かったので、子どもたちが「大丈夫？寒くないの?」「早く車に乗って」とお年寄りが車に乗り込むまで心配そうに見守る姿が印象的だった。

くり返しの話を好む幼児とその話をゆっくり吸い取るように聞いてくれるお年寄りとは、何かしら波長が合うようである。イベント的に交流するのではなく、日常的にさりげなく訪問し合うことがいいのではないかと思った。

今度いらっしゃる時には、どんな花が咲いているかな。急速な高齢者の介護と子育ての外部化が進んでいる中で、真の意味での共生はどうあればよいのか。色々思いをめぐらしながら、交流の場でのお年寄りたちの何ともいえない楽しそうな笑顔と子どもたちのやさしい心づかいを思い出していた。

集まれ！ 子どもびびっとクラブ



『子どもびびっとクラブ』って？

小学生(主に2～6年生)を対象に、遊びを通して新聞に親しみ、表現力や国語力を身につけてもらおうという趣旨で、びびっと究会が主催しているクラブです。



友だちと仲良く探しています

15年度の開催予定

6月7日(土)	第1回
7月	第2回
9月	第3回
11月	第4回
1月	第5回

6月以降の日にちはまだ決まっていませんが、基本的に第1か第3土曜日を予定しております。



どんなことをするの

新聞を使った楽しいゲームを通して、そのテレビ欄しか見たことがなかった子どもたちも新聞の隅々まで目を通すことになります。

今まで、「難しいだけ」と思っていた新聞のきれいな写真やおもしろい広告、目をひくようなものを発見し、子どもたちの目が輝き始めます。

知らない子同士がいつの間にかお友達になれるような、ほんわかした雰囲気のあるクラブです。



スタッフから

誰もが宝探しが好きなのように、子どもたちは何かを探すことが大好きです。新聞なんて開いたこともなかった子どもたちが、子どもびびっとクラブ』に来ると、まるで休みの日のお父さんのように新聞を隅から隅までなめるように探します。そんな様子を見てみると、よし、次はもっと楽しい知的ゲームを考えよう！と新たなやる気がわいてくるのです。

今年度もどんな子が子どもびびっとクラブ』に集まってくるのか、とても楽しみです。





子どもびびっとクラブ
シンボルマーク

平成 14 年 6 月から始まった「子どもびびっとクラブ」は、今年で 2 年目を迎えました。今回は、その詳しい内容について紹介します。



新聞を使った ゲームって？

たとえば・・・

- 見出しや写真、グラフ、絵などが何面にあったかさがす『これはどこだ！？』
- 記事の中の写真に思い思いの言葉を投げかける『写真とお話し』



「写真とお話し」の例

記事の中の地名を探し、日本地図にマークしていく『マップマップ』



平成 15 年度

第 1 回

「子どもびびっとクラブ」

開催のお知らせ

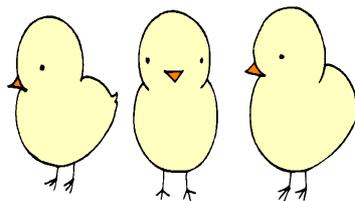
と き：平成 15 年 6 月 7 日(土)
午前 10 時～12 時
と ころ：北上市生涯学習センター
「遊・YOU 学園」
申 込 先：FAX で住所・氏名・学
校名・学年・電話番号
を 明 記 の 上、
64-0758 小笠原まで

他にもいろいろなゲームを用意してスタッフ一同待っています。

実は『びよびよびびっとクラブ』というのもあるんです。

対 象：保育園児
内 容：絵本の読み聞かせ
と き：毎月 2 回
と ころ：沢内村せんだん保育所

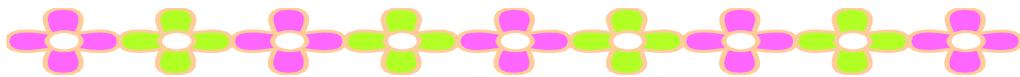
お昼寝前のほんの 10 分ほどの読み聞かせですが、かわいいびよびよたちは楽しみに待っていてくれます。



Q: カコミ記事とタタミ記事について教えてください。
 講座中の質問から
 (北上市 小学校PTA会員)

平成15年度「PTA会報担当者の編集技術講座」が5月26・27日の両日、北上市生涯学習センターで開催された。黒沢尻西小、黒沢尻東小、二子小、更木小、黒岩小、照岡小、鬼柳小、江釣子小、和賀西小、笠松小、煤孫小、上野中、飯豊中、江釣子中、和賀東中、北上中など16校35名の広報委員の参加があり、楽しく有意義な交流ができた。昨年度より若干人数がふえたのも嬉しい。

9月1・2日には各学校のPTA会報をもとに話し合いながら進行する予定である。毎年、「参加しなかったのに知らなかった残念」の声が寄せられる。9月にはぜひ.....期待したい。



カコミ記事

- 文字通り記事を罫線で囲んだものです。
- 流し組みでは左肩から右下に配置されることが多く、紙面に安定感を与えます。
- 記事の内容はふつう他の記事から独立したものになります。連載記事に利用されることも多いようです。あまり長い記事はさけてください。罫線によって雰囲気はかなり変わります。

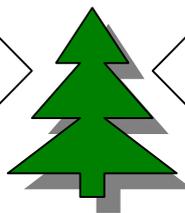
タタミ記事

片側を1本(または両側を2本)の罫線で他の部分と区別された記事です。紙を折りたたむように仕切られているためこう呼ばれているようです。ですから左か右のはじめに置きます。

これも連載記事や論説意見記事などによく利用されます。

第8回 NIE 全国大会

期日: 7月31日(木)~8月1日(金)
 会場: 島根県松江市「松江サルテ」



第46回全国新聞教育研究大会

期日: 8月6日(水)~7日(木)
 会場: 北九州市 小倉市民会館

クレヨンで書いた落書きをきれいに落とす...



子どもがいると、どうしても壁に落書きのひとつやふたつできてしまいます。

壁についたクレヨンやクレパスの汚れは、ティッシュペーパーにクレンザーをつけ、ぬらさずにこのままこすります。これで、今まであきらめていた壁の落書きがきれいに取れます。

ちょっと

ひと休み

知っています?

こんなこと

靴下とまうすりい

まうすりいだより ④
参加者の寄稿コーナーです！

高橋 裕子

「あっ、今日は まうすりい の日だ！」ある月の第2火曜日、午前9時40分。二度目の洗濯機を回し終え、息子のでかい靴下を今まさに干そうと手にしたその時、思い出した。「この時間ならなんとかセーフだろうか。ちょっとやばいかも…」そう、月に一度のまうすりいは午前10時からなのだ。作業速度を上げつつも、かごの中の靴下はあと7～8足ある。一瞬干さずに出かけようとも思うが、やはり干し終えてしまいたい。そして、当然の結果ながらやはり遅刻。

(あー心が痛む...今日もやってしまった...本当に申し訳ない.....)

「新聞を読んで今を語る会 通称 まうすりい」月に一度の集まりである。

過去一ヶ月の新聞紙上から、目に付いた記事や感じたこと・思っていること・家庭内でのやりとりなどについて自由に発言・ディスカッションする場となっている。会員の様々な発言を聞くことは、いろいろな意味で意義深いと思うし、世の中の今についてじっくり考える機会は、まさに貴重でもある。自分にとって色々な人と交流することは、勉強のひとつとも言えるだろう。

そんな有意義な時間であるまうすりいだが、正直なところ、普段新聞をじっくり読むことの少ない私にとって、新聞をちゃんと読んでこなかった後悔とあせりで一人パニックの場ともなる。

(どうしよう、今日も話すネタが... ときどきが増大する... あー、頭に浮かぶのは昨日のTVのニュース番組だ.....)心の中で高まる、毎回味わうなんとも言えない緊張感。人前で発言すると言うことは普段ほとんど皆無であるから、ある種のいい刺激になっていることは間違いない。もしかすると、その緊張感が味わいたくて参加しているのかもしれない。月に一度のチョッと知的な課題と楽しみ、それが私にとってのまうすりいである。

次回は「もう少し新聞をながめ、多少余裕を持って参加しよう！」とは思っているが、その一方でまた洗濯物を手にしながら焦る自分の姿が頭をよぎって行くのである。

(あっ、そうだ！ 来月の第2火曜日は洗濯お休みの日にすればいいんだ！ うん、そうだそうだそうしよう！)

新聞を読んで今を語る会(通称:まうすりい)は、複数の新聞を読み比べ、社会情勢から身近な出来事まで、いろいろな事柄について楽しくディスカッションしながら、お互い刺激しあって自分を高めていくことを願いスタートした会である。

ぴぴっと研究会では、平成13年4月より「まうすりい」を開始。平成15年5月現在26回を数える。

毎月第2火曜日、10時から12時まで北上市黒沢尻北公民館を会場に開催中。

参加希望者はどなたでも大歓迎!!

新聞の神様に再会

私は千葉の大澤和子先生を「新聞の神様」と呼んで尊敬している。

岩手にも何度か足を運んでもらい指導を受けた。最初にお会いしたのは確か昭和五十年代だったと思う。先生は雪の一番多い二月の小岩井牧場を盛岡からタクシーを使い隅々まで見学し、少々興奮気味で鶯宿温泉に到着された。その当時、私は口内小学校に勤務していた。お土産を何にしようか迷った掌く口内からかさを持参し駆けつけた。みんなはそれを見て驚き「からかさは縁起がいいものだからも欲しい」と注文する人もいた。その夜、先生と岩手の新聞の仲間が夜を徹

つして語り合ったのは言うまでもない。私は幸いにも同室になることができた。学校新聞日本一内閣総理大臣賞のご褒美のカナダ旅行と管理職面接試験日が重なり、子どもとのカナダ旅行を選んだこと。管理職にならない方が最後まで子どもと新聞をつくれること。など先生の胸のうちをつぶさに聞く機会に恵まれた。

その後、年に一度の全国新聞教育研究大会でお会いするのを楽しみにしていた。私がみんなの前でも「新聞の神様、神様」と言うものだから、先生は「先日教え子の所で買

物をしたの」

教え子「領収書のあて名いかがいたしまししょうか。かみ様でよろしいでしょうか」

先生「私のことがちよつと頭に浮び……びつくり、すぐ上様」うえさま「じょうさま」かみさまのことと納得……（お願いします。」と応えた話などをしてみんなを笑わせた。

車を運転しないのに、先生は六年前大きな交通事故に巻き込まれ、車椅子生活を余儀なくされた。その時を境に先生とお会いする機会はなく

なつた。
平成十五年五月八日東海道新幹線、東京発十二時十六分「ひかり」に

飛び乗った。新聞づくりの鬼の集まり新

友会パピルス熱海大会の総会に参加するためである。さほど混んでいない5号車自由席の真中ほどの席にどかんと座った。深呼吸をしてほつとするとなにやら聞き覚えのある声がある。そつと後ろを見ると「新聞の神様」がそこに。「神様のお引き合わせですね」と私が言うつとまた教え子の話になり思いつきり笑った。久しぶりの再会であった。先生は大分回復され自力で歩かれるまでになつてい

た。嬉しかった。
このコーナーは会員が最近感じたこと・出来事など交代で担当します。

新聞まめちしき

その12

新聞の付録

明治時代の新聞の付録は新聞の販売に大きな役割を果たしたらしく、「付録の予告」を出して宣伝しているケースが多い。だが、時には印刷がおくれて、当日、付録を添付できないこともあったようで、詫び状を掲載することもあった。今日の新聞はあまり付録と言う言葉は使わないが、日曜版や宣伝版、正月の別刷り特集など、やはり付録的な紙面は多い。

編集後記

昨年からはじめた「子どもびびっとクラブ」2年目の今年的第一回目が迫ってきて、スタッフ一同準備に追われているこのごろ。最近気づいたのですが、私たちってどんなに自分の子どもが大きくなってもびびっとをやっている限り、かわいい子どもたちとかかわっていけるという特権があるのですネ。

ご意見・ご感想をおまちしております

TEL・Fax 0197-64-0758

E-mail : agi@titan.ocn.ne.jp

「びびっと」研究会

